

講習の名称：ネット依存の予防教育と依存者への支援

担当講師：伊藤賢一（群馬大学社会情報学部教授）

大谷良光（青森大学客員教授、元弘前大学教育学部教授）

講習開講日：令和3年8月20日（金）

時間数：6時間

主な受講対象者：小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭

キーワード：ネット依存、ゲーム依存、情報モラル教育、予防教育

講習の概要：

ネット機器の長時間使用は以前から問題視されてきましたが、2019年にはWHOがゲーム障害を正式に国際疾病分類に登録する等、依存の問題への関心が高まっています。コロナ禍のもとで児童生徒のスマホ所持率はさらに上昇し、ネット依存が疑われるケースが増えているという報告もあります。本講習では依存問題についての理解を深め、参加者と共に学校での予防教育と依存者への支援、指導のあり方を考えます。

講習の展開：

第1時限 ネット依存の発生メカニズムと依存の病理

第2時限 コロナ禍におけるネット環境と依存を生む社会的条件

第3時限 長時間使用の理由と生徒指導上の注意点

第4時限 学級・学校での指導・模擬プレゼン

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

ネット依存・ゲーム障害について学校での指導が必要とお考えの方でしたらどなたでも歓迎します。PowerPointを使った講義を行い、受講されたみなさんにはわれわれが制作した教材の一部を提供できます。模擬プレゼンを実施し、秋から子どもや保護者の啓発・指導にご活用ください。

授業の形式：講義およびグループ討論・発表

履修認定試験：論述形式の実践的内容の筆記試験を課します（配布資料の活用可）。

テキスト・参考文献：

◎基本的な資料は全てプリントとして配布します。また、ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会発行のテキストを無料でお配りします。

◎参考図書は講義の中でお伝えします。